

笛吹社協 だより

かけはし



住み慣れた地域での生活を 支えるたくさんの手



くわしい内容は・・・
▶▶▶P3～6

CONTENTS ～ 目次 ～

P2 ▶▶ ● 第6回笛吹市社会福祉大会の報告

P3 P4 P5 ▶▶▶ ● 住み慣れた地域での生活を支えるたくさんの手

P6 ▶▶ ● 2月はボランティア・NPO活動推進月間
● 笛吹市ボランティアのつどい
● 子育て応援ボランティア養成講座

P7 ▶▶ ● 倉嶋市長コラム 「今日も桃源郷気分」
● 第21回春日居ボランティアまつり
● 赤い羽根共同募金
● 善意の寄付・寄贈の御礼

P8 ▶▶ ● 障害者地域活動支援センター「ふえふき通信」



発行 社会福祉法人 **笛吹市社会福祉協議会**

住所/〒406-0822 笛吹市八代町南917 電話/055-265-5182 FAX/055-265-5183

広報「かけはし」には、赤い羽根共同募金の配分金が活用されています。

発行責任者：社会福祉法人 笛吹市社会福祉協議会 会長 網倉義久



第6回 笛吹市社会福祉大会

楽しくふくしのまちづくり
〜こどもの笑顔いっぱい〜

平成25年12月8日(日)に八代総合会館にて第6回笛吹市社会福祉大会が開催されました。

ボランティア活動功労者・団体表彰 (順不同)

この賞は、社会福祉活動及びボランティア活動に多大な貢献をされた個人・団体の方々に贈られます。

矢崎恵美子様 小林 充子様 小野 正実様
荻原 和代様 春日居信玄ロック隊様

民生委員・児童委員功労者表彰 (順不同)

この賞は、笛吹市の民生委員・児童委員として9年以上在職され、地域福祉に多大な貢献をされた方々に贈られます。

金子 琴子様 海野みや子様 原 久枝様
廣瀬 雅夫様 川合 久男様 加々美恭子様
土橋ひとみ様 雨宮美枝子様 小林 信一様
石原 和雄様 根津 隆子様 中村 拓様
丸山美重子様

金品感謝状 (順不同)

この感謝状は、笛吹市社会福祉協議会に10万円以上のご寄付を賜りました個人・団体の方々に贈られます。

伊藤 三郎様 中村 剛様
山梨県遊戯業協同組合様

退任者感謝状 (順不同)

この感謝状は笛吹市社会福祉協議会の理事・評議員として、地域福祉の向上にご尽力をいただき、平成24年11月から平成25年10月までに退任された方々に贈られます。

高野 牧夫様 雨宮 茂雄様
安部 俊人様 荒川 利通様
須田 峯雄様 風間 春江様

当日は、市内の福祉関係者を始め、多くの方々にご参加いただき、誠にありがとうございました。受彰者の皆様、おめでとうございました。



受彰者を代表して
中村 拓様より
謝辞をいただきました

会場内イベント

親子で楽しんでいただけるよう、様々なふれあいの場を設けました。



サクライザー×社協レンジャー

こどもたちに『ふくし』について楽しく学んでもらおうと、「甲州戦記サクライザー」と「社協レンジャー」がコラボ。ドキドキわくわくの展開に会場は大盛り上がりでした。



ふくし体験発表・ふくしウルトラクイズ

会場のこどもたちが、誰かの力になった経験を発表してくれました。その後は「ふくしウルトラクイズ」と「じゃんけん大会」が行われ、会場にはこどもたちの笑顔が溢れていました。



福祉の現場で
また会おう！



当日は総勢200名以上の方々にご参加いただきました。社会福祉大会開催にあたり、ゆうゆう様、Hope笛吹様、きっずやつしる様をはじめ、とてもたくさんの方々のご協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。



これからも社協レンジャーは「楽しくふくしのまちづくり〜こどもの笑顔いっぱい〜」を達成するために日々頑張っていきます！

協社の役割

住民

笛吹社協

笛吹市

安心して暮らせる
幸せあふれる
まちづくり

地域づくり

福祉教育

災害対応

相談

地域と共に支え合う福祉

住み慣れた地域での生活を 支えるたくさんの手

〜デイサービスからつないだ手〜

笛吹社協の介護サービスは『要介護状態になっても住み慣れた地域で今後も暮らしていく事』を支援しています。今号のかけはしではデイサービスからつなげた地域の支援を紹介します。

デイサービスを始めたきっかけ

笛吹市で一人暮らしをされているFさんは、民生委員を通じ社協の『生きがいデイサービス』を利用し始めました。『生きがいデイサービス』とは、要介護状態にならないように予防するための事業です。市から委託を受け、デイサービス事業所で行っています。

一人暮らしのFさんの生活を心配した近所の方が、民生委員に連絡してくださったことで、デイサービスの利用につながりました。

1 日常会話も大切に、小さな変化にも細かく対応

Fさんは、デイサービスへ通い始めの頃、『知らない場所』『新たに人と出会う』という事に抵抗があったものの、通う内に徐々になくなったそうです。これは、Fさ

んに職員が**目線を合わせた声掛け**

を行ったことや、ほかの利用者さまがにこやかに話を聞いてくださったおかげです。その後、趣味の短歌にデイサービスでの様子を含んだ日常の出来事を詠み、友人への手紙の中にしたためられるほど、デイサービスになじまれました。



おやつ作り!



デイサービス
看護師 一瀬

Fさん

こうしてデイサービスに通われている中で、心身の変化に職員が気づき、Fさんに病院での受診をすすめ、介護保険の対象となりました。

その後Fさんは、笛吹社協のケアマネジャーが担当となり、ホームヘルパーが食事の準備や飲み薬の管理を支援するようになったことで、体調の変化もなく、デイサービスの利用を継続されています。

ある日、デイサービスに来たFさんは何かそわそわしており、いつもと違う様子が気になった職員がFさんに話を聞くと、『カギを持ってきました』とカギを出し、『ゴミ収集が翌日にあり、そのゴミ捨て場のカギです』と話されました。しかし、それだけでは不ように感じた職員がさらに詳しく聞くと、Fさんの地区ではゴミ捨て場の管理当番があり、ゴミ捨て場のカギの開閉・清掃などが、**大きな負担であり、不安に感じられる**ことがわかりました。



2 ケアマネジャーとの情報共有と連携

デイサービスの職員は利用者さまの自宅での生活背景や表に出せない気持ちを大切にしています。そして、情報を担当ケアマネジャーと共有し、連携することを心がけています。その考えのもと、今回の『ゴミ捨て場の当番がFさんにとって、**大きな負担と不安になっている**』ということをケアマネジャーに伝えました。

デイサービスがつないだ手

1 日常会話を大切にし 小さな変化にも細かく対応

デイサービス職員: ゴミ捨て場の当番が不安なんです

Fさん: そうなんです

2 ケアマネジャーとの情報共有と連携

ケアマネジャー: ご家族の方に相談しますね

4 地域の方が支える 暖かい対応

地域の方: 支えますよ

地域の方: 当番を手伝っていただけますか?

地域の方: いいですよ!

3 ケアマネジャーによる ご家族への迅速な対応

遠方のご家族: ゴミ捨て場の当番が不安とのこと

遠方のご家族: 地域の方に相談してみます

3 ケアマネジャーによる ご家族への迅速な対応

Fさんのご家族は遠方に住んでおり、Fさんに変化があった時はケアマネジャーが連絡をとっていただきます。今回のゴミ当番についてもすぐにご家族に連絡を取り相談しました。その後ご家族から、「組の方に相談したところ、**早く当番を引き受けてくださいました**」と報告がありました。

4 地域の方が支える 暖かい対応

以前からもFさんがゴミを出す際には、近隣の方が声かけや手伝いをして下さっていました。今回の『ゴミ捨て場の当番』という新たな問題に対しても、近隣住民や同じ組の方の対応はとても早く、Fさんの**負担や不安が解消**されました。

夏まつりの
輪投げを
楽しむFさん



定期的にケアマネジャーが様子を伺います！

住み慣れた地域での生活を 支えるたくさんの手

Fさんの『住み慣れた地域で暮らしていきたい』という想いを地域の方々と共有したことで、社協が取り組んできた『地域づくりの住民力』と結びつき、**住み慣れた地域での暮らしを支えるたくさん**の手につながりました。

Fさんは『自分の事を人に頼むのは申し訳ない。』と言いなながらも、**ご家族と地域住民の支える手**により住み慣れた地域で暮らしされています。

住み慣れた地域での 生活を意識した 笛吹社協の連携

笛吹社協は地域に密着し、民生委員、ボランティア、地域包括支援センター、関係者などに関わり、総合的なつながりを活かした支援体制をとっています。近隣住民同士による日常生活上のちよつとした援助や声掛けが、自宅で生活を続けていくうえで大きな支えになります。たとえ介護が必要になっても、それまでと同様に地域社会の構成員の一人として社会に参画していく事ができます。

住み慣れた地域で安心して自分らしい生活を続けられる事。これは誰もが願っていることではないでしょうか。

地域性を活かし自立・自己実現が出来るよう、社協・デイサービスは地域とのつなぎ役を目指し取り組んでいます。



笛吹社協 通所介護事業所一覧 (デイサービス)

- 石和通所介護事業所 (石和デイサービス) TEL 055-230-5552
- 御坂通所介護事業所 (御坂デイサービス) TEL 055-263-0848
- 檜峰通所介護事業所 (檜峰デイサービス) TEL 055-264-2434
- 八代通所介護事業所 (八代デイサービス) TEL 055-265-2857
- 境川通所介護事業所 (境川デイサービス) TEL 055-266-5911
- 春日居通所介護事業所 (春日居デイサービス) TEL 0553-20-2171

2月は・・・

ボランティア・NPO活動推進月間

ボランティア・NPO活動は、どなたでも気軽にできる社会貢献活動です。東日本大震災の被災地支援を通して、ボランティア・NPO活動の大切さが改めて見直されている今、皆さんも自分にあった活動を参加してみませんか。



草とり

もちつき大会の協力



男衆、女衆ボランティアの活動の様子

お知らせ
NEWS

笛吹市ボランティアのつどい ～災害から考えられる日常のヒント～

いつ起きるかわからない災害、非日常に備えて、ボランティアのあり方を考え、日常生活から行う活動について、ぜひ、一緒に考えてみませんか。



【日時】平成26年2月11日(火・祝) 13:00～15:00 (受付12:30)

【場所】笛吹市石和スコレーセンター 1F 集会室

【内容】非日常に対処する心構えとその方法

《話題提供》テーマ「想定外の出来事が起きたときに備えておけばよかったこと」

話し手：東日本大震災被災者 高橋 清さん

《話し合い》テーマ「日常生活の中にあるあなたが考えること、出来ること」

【参加費】無料

【主催】笛吹市ボランティア連絡会 笛吹市社会福祉協議会

○申込先 参加希望の方は下記までご連絡ください。

笛吹市シニアボランティア養成講座

子育て応援ボランティア養成講座

【場 所】八代福祉センター

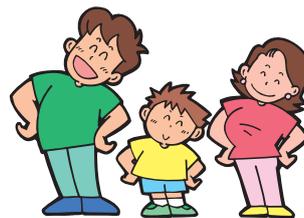
【対象者】笛吹市内在住の概ね60歳以上の方

定員20名(定員となり次第締め切ります。)

原則として、**全日程受講可能**な方の参加をお願いいたします。

【参加費】無料

【締 切】平成26年2月19日(水) お近くの社協地域事務所へ電話にてお申込みください。



全日程とも 13:00～15:00

2月21日(金) 今どきの子育て事情

内容：今と昔、子育ての方法や考え方について
講師：山梨県助産師会 榊原 まゆみ 様

2月28日(金) 子どもの身体と心の発達

内容：子どもの身体と心の成長と変化について
講師：山梨県立大学 教授 坂本 玲子 様

3月7日(金) 子どもと一緒に遊ぼう

内容：絵本の読み聞かせやわらべ歌から学ぶ“ことば”の楽しさ
講師：NPO法人 山梨子ども図書館 理事長 齊藤 順子 様
内容：物造り・遊びを通じて子どもとのコミュニケーションのとり方
講師：おらんとうの森 代表 福嶋 孝一 様

3月14日(金) 子育てひろばの活動

内容：実践者から学ぶ、活動プロセスの極意
講師：NPO法人 Happy Space ゆうゆうゆう
代表 星合 深妃 様

お申込み
お問い合わせ

本 所 笛吹市八代町南917 (055) 265-5182
石和地域事務所 笛吹市石和町市部448 (055) 262-1267
御坂地域事務所 笛吹市御坂町栗合87 (055) 263-0848
一宮地域事務所 笛吹市一宮町末木798-1 (0553) 47-2288

八代地域事務所 笛吹市八代町南917 (055) 265-2240
境川地域事務所 笛吹市境川町藤袋2588 (055) 266-5911
春日居地域事務所 笛吹市春日居町寺本142-1 (0553) 26-3667
芦川地域事務所 笛吹市芦川町鶯宿466-1 (055) 298-2170

音楽のまちにしたい

前号で「花いっぱいのまちにしたい」という想いを書いたところ、「やります！」という力強い声が上がりました。皆さん、一緒にやりましょう。

戦後すぐの一九四七年、「花の街」という歌が作られました。江間章子、団伊玖磨コンビによる名曲ですが、連想ゲームで「歌の町」というのもあったなど。「よい子が住んでるよい町は、楽しい楽しい歌の町・・・」。調べてみると、この歌が世に出たのも一九四七年。

桃源郷は花のまち♪ 花のまちの子みなよい子♪ よい子の住むまち歌の町♪

笛吹市は歌のまち、音楽のまちであるべきだ、と強く激しく思います。「笛吹市」と名乗った以上、音楽のまちでなければウソでしょ。かくして私は、今度は「笛吹市を音楽のまちにしよう!」と小さく叫ぶのであります。この小さな叫びが共鳴して大きな響きにならないかなあ。

「音楽のまち」といえばザルツブルグかバイロイト・・・国内を見渡すと、見晴るかす彼方に郡山市。郡山第二中学校、第五中学校、安積黎明高校。凄過ぎるかなあ。まずもって、音楽の地力を高める。底辺を広げ、頂点を全国トップレベルに。そして笛吹音楽祭、コンクールの開催、お祭りの行進等々。

お祭りの行進といえは博多どんたく。二日間の参加七百人団体三万人、見物客二百万人。私の生まれ育った旭川市にも九十年の歴史をもつ音楽行進があり、百団体四千人が参加する。

「音楽のまち」といってもいろんな切り口、接近方法がある。ああ、だんだんその気になってきた。どこかにこの壮大な計画を

指揮してくれる人はいないかしら!



倉嶋 清次

赤い羽根共同募金のご協力ありがとうございました。

13,730,824円

(2014.1.10 現在)



みんな来てね!!



パトカー=救急車の展示



フリーマーケット模擬店



体験スタンプラリー
・丸太切り体験
・手話体験 他

第21回
春日居ボランティアまつり

2/23日

【時間】
10:00~14:30
※荒天時、規模縮小のうえ開催

【場所】
春日居福祉会館
めぐり情報
ステーション

問合せ先
笛吹市社会福祉協議会
春日居地域事務所
TEL 0553-26-3667

善意の寄付・寄贈の御礼

10月 秋山和則様 [八代]
▶金100,000円
匿名希望
▶金10,000円

11月 雨宮清美様 [春日居]
▶図書カード3,000円分
田中正晴様 [御坂]
▶簡易ベッド1台

浅川中学校 生徒会様 [八代]
▶タオル(ダンボール2箱)
石鹼(ダンボール1箱)

11月 丹治貞子様 [八代]
▶バスタオル20枚、タオル20枚、
タオルケット7枚
さらし、浴衣、クリアケース

昭和43年度八代中学校卒業生一同様 [八代]
▶車椅子1台

石和地区民生・児童委員協議会様 [石和]
▶金10,500円

堀内孝則様 [御坂]
▶金10,000円

八代小学校福祉委員会様 [八代]
▶タオル50本、固形石鹼100個

12月 八代町老人クラブ連合会様 [八代]
▶金26,220円

八代更生保護女性会様 [八代]
▶金20,000円

笛吹市ゴルフ連盟一宮支部様 [一宮]
▶壁掛け時計、ガスコンロ、たこ焼き機

雨宮隆様 [八代]
▶金100,000円

笛吹高等学校生徒会様 [石和]
▶金16,000円

匿名希望
▶金20,000円

ご協力いただきありがとうございます



「ふえふき通信」

障害者地域活動支援センター

障がいを持っていても「市民!!」

「みんなで『みんなのくらしのしあわせを考えよう!』ひとりの声をみんなの声に」



まちなしポート

当事者・家族部会では、身体(聴覚・視覚)・知的・精神障がい者の各団体の代表者や家族、当事者の方が集まり、月1回の定例で検討会を行っています。

平成24年度から、「防災」をテーマに取り組みを行っています。東日本大震災の教訓を活かし、①自分の身は自分で守ろう ②地域の支えあい について検討を行ってきました。②の「地域の支えあい」は、前回紹介した「障がいがあっても地域の一員に」をご覧ください。

自分の身は自分で守るために・・・

まずは防災について自分達が学びために研修会を開催し、その中で『救急医療情報キット』※の存在を知りました!!

しかし、救急キットの対象者は「75歳以上のひとり暮らしの方」「75歳以上の方のみの世帯の方」と限定されています。

※『救急医療情報キット』とは・・・
専用の容器に、かかりつけの病院や服薬内容などの医療情報、家族等の緊急連絡先などを記入する用紙を入れ、これを自宅の冷蔵庫に保管しておくことで、万一の救急時、救急隊員などがその情報を活用し迅速な救命活動等を行うことができるということです。

救急キットを障がい者にも活用できるように!

災害時、聴覚障がいによって、「コミュニケーション」がなかなか取れず情報を上手く伝えられないかもしれない・・・

要望書提出の様子



市長宛に要望書を提出!



身障福祉会花田会長、当事者新沼さんも同席してくれました。

知的障がいの障がい特性を上手く説明できないかもしれない・・・精神障がい者にとって薬の確保はとても大切だけど、その情報がわからなくなってしまうかもしれない・・・このような情報を準備しておくためにも、「救急キット」を障がい者にも活用できるようにして欲しい!という声があがり、市の担当者も含め、検討を重ねてきました。

検討内容を踏まえ救急キットを障がい者でも使えるようにと市長宛に要望書を提出しました!

今回は「救急キットって、自分たちも使えないかな?」という声から検討が始まり、具体的に要望書の提出という形になりました。

身近な「これっておかしいな」「困ったな」という当事者の方の声を集め、みんなで一緒に考え、障がいがあっても地域でしあわせに暮らしていけるようにするために・・・?と考えられる場所が、当事者・家族部会です。

お一人に聞いてみました



救急キットを持って

当事者の新沼さん「自立支援協議会は、障がいがあってもより住みやすくなるための仕組みづくりの場、障がい者の権利を獲得するための場だと思っています。」

当事者・家族部会に参加し、自分が出て行くことによって少しずつでも社会が変わってほしいと思っています。今は知的障がいや身体障がいを持つ方の参加が多いのですが、今後、精神障がいや難病の方の参加も増えてほしいと思います。毎月会議に出ることによって、人と人との新しい繋がりができ、障がい種別に関わらず一緒に話

ができ、垣根がなくなってきたと思います。」と話します。

部会長高野さん「定期的に開催することで顔の見える関係ができ、自分達の意見を自由に言えたり、意見を聞いてくれる場になってきていることを感じます。その中で出てきた意見を、ただの「ひとりの声」として終わらせないで、一緒に考えていくことができる、そんな場所が笛吹市にできたのではと思います。当事者・家族の力だけではなく、行政や事務局の方と相談しながら一緒に考え進めることができることが、自分たちのパワーとなっています。いずれは、家族ではなく、当事者の方に会長となり活動を広めていけたらと思っています。」

*当事者・家族部会では、防災だけでなく、障がい者に関する制度や相談支援体制についてなど、様々な検討を行っています。



左：当事者家族部会 事務局 雨宮さん
中：当事者家族部会 会長 高野さん

お知らせ

障がい者ボウリング大会

【日時】①平成26年2月8日(土) ②平成26年2月14日(金)
13:00~15:30 10:00~12:30

【定員】各25名(日時指定で先着順での受付です)

【場所】石和ラウンドワン

【参加費】支援センターより支給
但し貸し靴代350円は自己負担となります。

【申込・問合せ先】お問合わせは下記へお願いします。
申込みは2月1日~6日までに下記へ電話かFAXでお申し込み下さい。



笛吹市朗読ボランティア発表会

声の広報活動を行っている、ボランティアサークルの日頃の活動を発表する場です。皆さんの優しい声を聞き、癒されに来ませんか?

【日時】平成26年2月16日(日)
午後0時30分~(受付) 午後1時(開演) 午後4時(終演)

【場所】笛吹市学びの杜みさか 視聴覚室 [参加費] 無料

【申込・問合せ先】下記のお問合わせ先へお願い致します。(担当：雨宮)

